

地域とともにある学校

魅力ある学校づくりを目指して

<校訓>

樹の如く伸びよ 星の如く輝け

<学校教育目標>

自律する人間 共創する人間 錬磨する人間

2018/8/23 (木) 発行

校長通信 NO19

北海道日高等学校

町田英謙

夏季休業を終えて

25日間の夏季休業期間、大変ご苦労様でした。生徒達も全国各地の故郷へ帰省し、有意義な時間を過ごしてくれたことが何よりです。

教職員の皆様におかれましても、長期休業は生徒が誰も居ない状況ですので、ゆっくりと家族との対話や、自分の趣味に没頭し、心も身体もリフレッシュできたのではないかと思います。

さて、2学期は、生活体験発表日勝支部大会（8月31日）、「創立70周年記念式典」（10月6日）、高校生活最大行事の見学旅行（10月15日～19日）等、大きな行事が目白押しです。また、3年生の進路決定の大切な時期でもあります。教職員（高校・産学）が一丸となって、生徒が素晴らしい成果を発揮できるよう、協働体制で対応していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

北海道高等学校給食研究協議会の報告

7月25日（水）、札幌北高等学校の同窓会館「彩風館」で、第50回目の全道給食研究協議会が開催されました。

平成32年まで札幌北高校が当番校として運営しますが、定時制高校の給食に関する諸問題について研究協議で充実を図る目的で実施されています。本校は高校寮での対応していますので、給食ではなく「補食」という位置づけです。しかし、基本的な生活習慣である「食育」の分野については大変重要な部分でもありますので、別紙で報告書を作成していますので確認願います。

会長である宮下 聡（札幌北）から、人生の心や身体の基本づくりである高校生期における「食育」は大変重要であり、この時期の栄養不足は貯骨に関して骨粗鬆症になる危険性が高いことを伝え、時代の変化により、定時制高校の給食に関しても、ある県では廃止し、コンビニ等の対応に試験的に移行したところもあるが、給食は調理員さんや生徒同士、教職員との交流、心と身体を育てる大切な場であると話されていました。

また、講話では、光塩学園女子短期大学の布川 育子 様より、「給食で心にも身体にも栄養を！」を演題に、食育の大切さ、経費、衛生管理、彩り等の説明を受けました。

本校生徒の生活を考えると、活動の時間や内容はエネルギーを多く必要とすると思っておりますので、食育の大切を改めて認識できました。

今一度、2学期迎えるにあたり

西日本の豪雨災害もあり、全国では異常気象の影響で、天災によって大切な命を失った沢山の方々に心からご冥福をお祈り致します。

さて、北海道でも報道関係でご承知のとおり生徒の水難事故が2件や、生徒事故に関する案件が多数ありました。また、教職員に関しても生徒の個人情報流出や不正事務処理、交通事故事案など沢山の問題が発生して、道教委もその対応に苦慮しているところです。

お陰様で本校は、日頃からの生徒指導による生徒の善悪の判断、愛情を注いだことによる生徒の精神的な安定を図ることができ問題なく夏休みを終えることができました。加えて、教職員の服務規律に関する意識が安定した学校運営の礎となっていることは言うまでもありません。

毎月の職員会議等の研修機会ですら自らを律する確認の場として活用していただき、今後も継続して自覚ある行動を切にお祈り致します。

2学期は長丁場となり、大きな行事も沢山ありますので、お互いに助け合い、協働体制で生徒とともにご活躍を祈念いたします。

夏休みに、道教委・町教委より教職員の服務規律の保持について（通知）がありましたので、記載させていただきます。

- 1 飲酒運転などの交通違反・事故防止について
- 2 わいせつ行為の防止について
- 3 体罰の防止について
- 4 公務員倫理の保持について
- 5 個人情報紛失の防止について
- 6 窃盗、金銭事故の防止について
- 7 政治的中立性の確保について
- 8 適正な勤務時間の管理について
- 9 ハラスメントの防止について

このことについては、従来から機会があるごとに注意・喚起してきたところですが、道内では依然として教職員の不祥事が後を絶たない状況であり、学校教育に対する道民の信頼を損なう極めて憂慮すべき事態です。

私も含め、一人ひとりが自覚ある行動で全てではありませんが、回避することができる事案です。事故が発生した場合、本人は勿論、学校全体に迷惑を掛けるだけでなく、学校存続の危機を迎えるかもしれません。